

□パブリックコメントの結果について

1) 閲覧及び意見募集期間

平成 28 年 12 月 26 日（月）～平成 29 年 1 月 20 日（金）

2) 閲覧場所

市役所都市計画課、市役所本館情報公開コーナー、市民サービスセンター、各学区コミセン、市民活動支援センター、人権センター、市民交流センター

*市のホームページでも閲覧が可能。

3) 意見提出人数

1 人（5 項目）

4) 意見の概要及び市の考え方

意見の概要	市の考え方
<p>(1)</p> <p>計画の目標年次を短期：概ね 5 年後（平成 32 年）と長期：概ね 20 年後（平成 52 年）として設定しているが、誘導施策についても短期的に取り組む施策と長期的に取り組む施策と区別して記載すると解りやすい。</p>	<p>本計画は、まちづくりの指針である第 1 次野洲市総合計画（改訂版）や都市計画の方針を定めた野洲市都市計画マスタープラン（改訂版）などに即した、居住機能や都市機能の立地、公共交通の充実等に関する包括的なマスタープランであり、関連する行政分野と整合・連携を図りながら「コンパクト+ネットワーク」の具現化を推進する計画です。</p> <p>そのため、個別の誘導施策は各計画に位置づけられる事業計画等にて目標年次を定めています。</p>
<p>(2)</p> <p>居住誘導区域は、平成 29 年度に設定予定であるが、居住誘導区域を設定した後に都市機能誘導区域を設定する方が、発展性があるのではないか。</p> <p>また、現状の居住区域を基にして都市機能誘導区域を設定することは、今後のまちの発展が無いことを前提としているのではないか。</p>	<p>本市では、都市機能誘導区域及び誘導施策の設定による効果を早期に発揮させる必要があることから都市機能誘導区域を居住誘導区域に先行して設定を行います。</p> <p>また、立地適正化計画は今後の避けられない人口減少に対応し、効率的かつ効果的な都市構造を再構築するための計画であり、将来的に市街化区域拡大が想定されている場合でも、現行の市街化調整区域に誘導区域を設定することはできません。よって、都市機能及び居住誘導区域の設定対象範囲は、現行の市街化区域内となります。</p>

<p>(3)</p> <p>野洲市の幼稚園、小学校周辺は農地が広がっており、開発しやすい状態にある。また、小学校は地域の防災拠点であり、一部公園的な利用も可能である。都市構造上の課題(1)「既存住宅用地の住環境維持及び新たな住宅用地の確保」として記載があることから、幼稚園、小学校周辺に20-30代の子育て層世代の住環境を整備し、生産及び年少人口を増加させるような施策に取り組むべきではないのか。</p> <p>特に、北野小学校及び北野幼稚園周辺はJR野洲駅にも近いため、今後発展する可能性が高い。また、竹ヶ丘地区と一体となった一定規模の住宅地を整備することにより、商業施設立地の可能性も出てくるのではないのか。</p>	<p>北野小学校及び北野幼稚園周辺は市街化調整区域であるため、立地適正化計画において、都市機能誘導区域及び居住誘導区域を設定し、医療・福祉・商業等の都市機能や居住の誘導を図ることはできません。</p> <p>ただし、都市計画マスタープランにおいて、長期的に市街化を検討していく地区として位置付けており、今後の土地利用の転換にむけた方針を示しています。</p>
<p>(4)</p> <p>居住誘導区域の設定においては、周辺の自然環境が良好であれば、より魅力的な区域となる。北野小学校及び北野幼稚園周辺には、野洲川河辺の自然の森や野洲川などの自然環境が豊かであるが、これらを活用する取り組みを施策として位置付けてはどうか。</p>	<p>北野地域については都市計画マスタープランにおいて、「水と緑豊かな自然環境を生かし、人にやさしく、楽しく歩ける地域づくり」を将来像として位置付けており、自然環境や田園景観を生かした地域づくりを進めています。</p> <p>また、野洲市立地適正化計画においては、来年度(平成29年度)に居住に関する誘導施策について検討を実施する予定です。</p>
<p>(5)</p> <p>北野小学校及び北野幼稚園周辺の住宅地の整備は、長期：概ね20年後(平成52年)目標ではなく、短期：概ね5年後(平成32年)目標とすることで人口減少に少しでも歯止めをかけることが出来るのではないのか。</p>	<p>北野小学校及び北野幼稚園周辺は市街化調整区域であるため、立地適正化計画において、居住誘導区域を設定することはできません。</p> <p>ただし、都市計画マスタープランにおいて、長期的に市街化を検討していく地区として位置付けており、今後の土地利用の転換にむけた方針を示しています。</p>